

妊娠中！？お腹が大きく膨らんだメスイルカたち



ザトウクジラシーズンが終わり、本格的なイルカシーズンがやってきました。前回のイルカ通信でもお伝えした通り、これからの季節はミナミハンドウイルカたちの出産シーズンにもあたります。そこで今号では、この春に確認された、妊娠中と思われるお腹が大きく膨らんだメス個体をご紹介します。この夏、彼女たちが新生児を連れてくる姿が観察されるかもしれませんので、要チェックです！

#31 ♀
チーズ

観察歴：1997年～

何度も出産経験がある個体。ややおちょぼ口。背ビレや尾ビレには特徴的な欠けがあります。2020年の夏には新生児を連れていましたが、その後、子供の生存は確認できておらず、この子供は死んでしまったと考えられます。2023年4月19日に出会った際には、お腹が大きくなっているのを確認しました。

#76 ♀
テンテン

観察歴：2002年～

これまで4度の出産経験がある個体。背中から体の右側にかけて、大きな白斑が4つあるため、遠くからでも容易に識別することができます。昨年夏には新生児を連れていましたが、すぐに子供の姿が確認できなくなりました。2023年4月27日に撮影された写真にはお腹が大きく膨らんでいる姿が写っており、妊娠中と思われます。

#100 ♀
おたまちゃん

観察歴：2004年～

過去にも出産経験のある個体。尾ビレの付け根に丸い玉のような出来物があるのが特徴です。2018年以降は父島列島周辺に加えて嫁島でも確認されるようになりました。2023年4月19日には、お腹が大きく膨らんでいる姿が観察されています。

ザトウクジラ定点目視観測結果報告～2022/23シーズン～

2022/23シーズンの半年間（12～5月）のザトウクジラ定点目視観測の結果をご報告します。12月前半の一日の平均発見頭数は1頭にも満たない程度でしたが、12月後半は観測の度にクジラの姿を確認することができ、昨シーズンを上回る発見数となりました。年明け後も順調に発見数は増え、1月後半までは一昨シーズンと同様の傾向で推移していきました。2月に入ってもそのままの勢いで増加し、30頭以上を観測した日も度々ありました。結果的に2月後半に来遊ピーク（平均発見頭数は27頭程）を迎えましたが、3月中も平均25頭程の発見があり、過去2シーズンのピーク時の発見数を上回る結果となりました。シーズン終盤となった4月以降に関しては、一日の発見頭数が20頭を下回るようになり、4月後半以降は過去2シーズンより少し多く見られているかなという程度で推移しました。なお、終認日は5月31日となり、定点観測の中では過去一番遅くまで確認することができました。2月から3月のピークシーズンの比較からも、今シーズンは過去2シーズン以上にクジラがたくさん確認できたシーズンであったと言えるでしょう。

